



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151（代）

担当者の所属・氏名 聖路加国際病院 乳腺外科 川端 明日香

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 乳腺外科 川端 明日香

# 片側の乳房に2つ以上のがんが生じた方を対象とした

## 乳房温存療法に関する研究

### 1.研究の対象

下記の3つの項目をすべて満たす方を対象としています。

1) 2000年1月から2020年12月に当院で乳がんに対し乳房手術を受けられた方

2) 手術の術式として、乳房温存療法（乳房温存手術＋標準的放射線療法）または乳房全切除を選択された方。

3) 術前の画像診断で同側多発乳がん（片側の乳房内に2つ以上のがんが同時に存在している状態）と医師より説明があった方。

### 2.研究の目的・方法

近年、画像診断の進歩により、同側多発乳がんと診断される方の数が増えており、現在の医療においては、乳房全切除術を受けることが推奨されています。

しかし、同側多発乳がんの患者さんが乳房温存手術を選択された場合でも、その治療成績や予後が全切除術と変わらなければ、温存手術が十分有用な治療の選択肢であることを示すことができます。

今回の研究では、同側多発乳がんの患者さんの、温存手術または全切除術を受けた場合の治療成績と予後と比較し、温存手術の有用性について明らかにすることを目的としています。

なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。

該当データの利用開始は、2023年10月30日を予定しております。

### 3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下の通りとなります。

カルテID、年齢、

乳がんの種類（サブタイプ）、大きさ、ステージ、抗がん剤や放射線など手術以外の治療の有無、術式 等

\*乳がんの種類やステージ等については、乳がん診断時の針生検および手術検体試料をもとにデータを作成します。